

ATDE インストールガイド

Version 3.0.0
2010/03/12

株式会社アットマークテクノ [<http://www.atmark-techno.com>]

Armadillo 開発者サイト [<http://armadillo.atmark-techno.com>]

SUZAKU 公式サイト [<http://suzaku.atmark-techno.com>]

ATDE インストールガイド

株式会社アットマークテクノ

060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F
TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570

製作著作 © 2006-2010 Atmark Techno, Inc.

Version 3.0.0
2010/03/12

目次

1. はじめに	6
1.1. 対象となる読者	6
1.2. 本書の構成	6
1.3. インストール PC の推奨スペック	7
1.4. フォントについて	7
1.5. コマンド入力例の表記について	7
1.6. 注意事項	7
2. Windows 上に ATDE を構築する	8
2.1. インストールの前に	8
2.1.1. 準備するもの	8
2.1.2. ATDE イメージの展開	8
2.2. VMPlayer のインストール	8
2.3. ATDE の起動	11
2.4. アンインストール	13
2.4.1. VMPlayer のアンインストール	13
2.4.2. atde フォルダの削除	14
3. Linux 上に ATDE を構築する	15
3.1. インストールの前に	15
3.1.1. 準備するもの	15
3.1.2. ATDE イメージの展開	15
3.2. VMPlayer のインストール	15
3.3. ATDE の起動	17
3.4. アンインストール	19
3.4.1. VMPlayer のアンインストール	19
3.4.2. atde ディレクトリの削除	19
A. Appendix	20
A.1. シリアルポートに関して	20
A.1.1. 動作確認方法	20
A.1.2. 動作しない場合の対処方法	20
A.2. ATDE の画面解像度を変更する	21
A.2.1. 画面解像度を変更する	21
A.3. ATDE3 に自動ログインするには	22

目次

2.1. セットアップウィザードの開始画面	9
2.2. インストール先フォルダ指定画面	9
2.3. ショートカット作成場所の指定画面	10
2.4. 設定確認画面	10
2.5. セットアップウィザードの完了画面	11
2.6. ライセンス確認画面	11
2.7. VMPlayer 起動画面	12
2.8. vmx ファイル指定画面	12
2.9. 仮想マシンの選択画面	13
2.10. VMPlayer 削除画面	14
3.1. Linux での zip ファイルの展開	15
3.2. インストールの開始	16
3.3. インストールの準備画面	16
3.4. セットアップウィザードの完了画面	16
3.5. VMPlayer の起動	17
3.6. ライセンス確認画面	17
3.7. VMPlayer 起動画面	17
3.8. vmx ファイル指定画面	18
3.9. 仮想マシンの選択画面	18
3.10. vmware-uninstall.pl によるアンインストール	19
A.1. シリアルインターフェースへのアクセスエラー	20
A.2. シリアルインターフェースへのアクセスエラー	20
A.3. 画面解像度の変更	21
A.4. 画面解像度の設定	21
A.5. ログイン画面の変更	22
A.6. root パスワード入力画面	22
A.7. ログイン画面の設定	23

表目次

1.1. インストール PC の推奨スペック	7
1.2. 使用しているフォント	7
1.3. 表示プロンプトと実行環境の関係	7
2.1. デフォルトのユーザ名とパスワード	13
3.1. デフォルトのユーザ名とパスワード	19

1.はじめに

ATDE(Atmark Techno Development Environment)は、VMware 上で動作するアットマークテクノ製品の開発環境です。Debian GNU/Linux をベースに、開発に必要なクロスコンパイラや必要なツールが事前にインストールされています。ATDE を使うことで、開発用 PC の用意やクロスコンパイラのインストールなど、開発環境の構築を容易にします。

本ガイドでは、ATDE のバージョン 3 について解説します。バージョン 3 は、VMware のゲスト OS に Debian GNU/Linux 5.0 (lenny)を採用したものです。ATDE の初期状態でインストールされているソフトウェアは以下の URL で確認することができます。

<http://download.atmark-techno.com/atde/atde3-dpkg-list.txt>



ATDE3 とアットマークテクノ製品の対応

atde3-20100309 は Armadillo-400 シリーズ専用の開発環境です。Armadillo-400 シリーズを除くアットマークテクノ製品の開発環境として使用すると正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



VMware とは

Windows または Linux 上で任意の仮想マシンを実行できるようにするソフトウェアです。標準的なデスクトップアプリケーションと同じようにインストールでき、その後仮想マシンを別のウィンドウ内で実行できます。なお、本書では、VMware Player を対象としています。VMware Player についての詳しい情報は、<http://www.vmware.com/jp/products/player/>を参照してください。

以降では、VMware Player を VMPlayer と略します。

1.1. 対象となる読者

本書の対象となる読者は、Windows または Linux をお使いで、アットマークテクノ製品用の開発環境を簡単に構築したい方です。また、Windows または Linux の基本的な使い方を理解していることを前提にしています。

1.2. 本書の構成

本書は、ATDE を使用する上で必要な情報のうち、以下の点について記述されています。

- ・ VMPlayer のインストール方法
- ・ ATDE の起動方法

- ・ VMPlayer のアンインストール方法
- ・ ATDE からシリアルポートを使用する場合の動作確認
- ・ ATDE の画面解像度の設定
- ・ ATDE で自動ログインするには

1.3. インストール PC の推奨スペック

表 1.1 インストール PC の推奨スペック

項目	スペック
CPU	1.5GHz またはそれ以上
メモリ	512MB またはそれ以上
HDD	10GB またはそれ以上の空き容量
OS	x86 アーキテクチャの Windows または Linux
その他	シリアルインターフェース (USB-シリアル変換アダプターを含む) が 1 ポート以上あること

1.4. フォントについて

本書では以下のようにフォントを使っています。

表 1.2 使用しているフォント

フォント例	説明
本文中のフォント	本文
[PC ~]\$ ls	プロンプトとユーザ入力文字列
:	コマンド実行後の出力を省略

1.5. コマンド入力例の表記について

本書に記載されているコマンドの入力例は、表示されているプロンプトによって、それぞれに対応した実行環境を想定して書かれています。「/」の部分はカレントディレクトリによって異なります。各ユーザのホームディレクトリは「~」で表わします。

表 1.3 表示プロンプトと実行環境の関係

プロンプト	説明
[PC /]#	作業用 PC 上の特権ユーザで実行
[PC /]\$	作業用 PC 上の一般ユーザで実行
[ATDE /]#	ATDE 上の特権ユーザで実行
[ATDE /]\$	ATDE 上の一般ユーザで実行

1.6. 注意事項

本書で紹介するソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま(AS IS)提供されるものであり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本書で紹介するソフトウェアの使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

2.Windows 上に ATDE を構築する

この章では Windows に VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

2.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

2.1.1. 準備するもの

ATDE を使うために以下のものがが必要です。

ATDE イメージ ATDE イメージ (atde3-[version].zip) は、付属 DVD の/atde/vmware フォルダにあります。弊社ダウンロードサイト [<http://download.atmark-techno.com/atde/>]からも取得できます。

VMPlayer のインストーラ VMPlayer のインストーラ (VMware-player-[version].exe) は、VMPlayer ダウンロードサイト [<http://www.vmware.com/download/player/>]から取得できます。

以降の ATDE 構築例では、以下のバージョンのファイルを使用しています。

- ・ ATDE イメージ: atde3-20100309.zip
- ・ VMPlayer: VMware-player-3.0.1-227600.exe

2.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde3-[version].zip を任意のフォルダに展開します。



展開ソフトによっては展開に失敗する場合があります。WindowsXP の標準機能で正常に展開できることを確認しています。

2.2. VMPlayer のインストール

VMPlayer のインストール手順を説明します。

1. ダウンロードした VMware-player-[version].exe を起動し、「次へ」ボタンをクリックします。

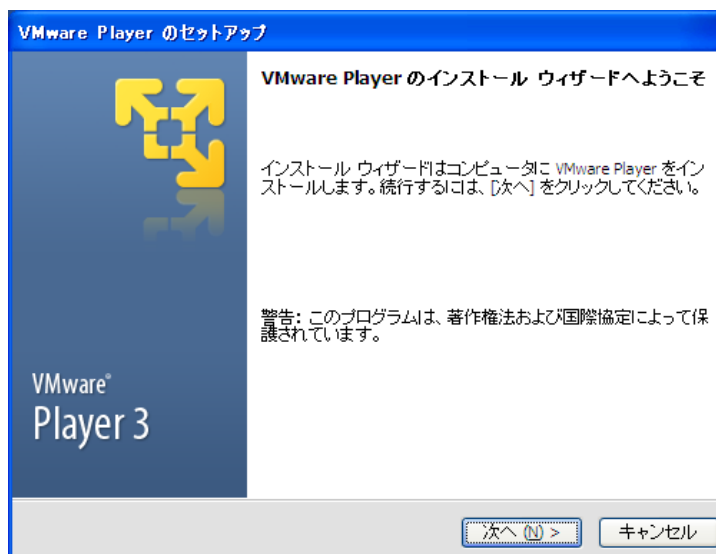


図 2.1 セットアップウィザードの開始画面

2. インストールフォルダを指定し、「次へ」ボタンをクリックします。

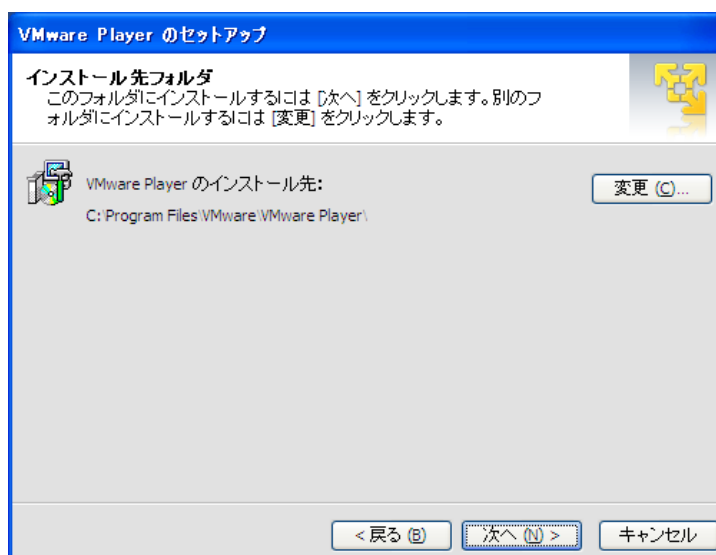


図 2.2 インストール先フォルダ指定画面

3. ショートカットを作成する場所を指定し、「次へ」ボタンをクリックします。

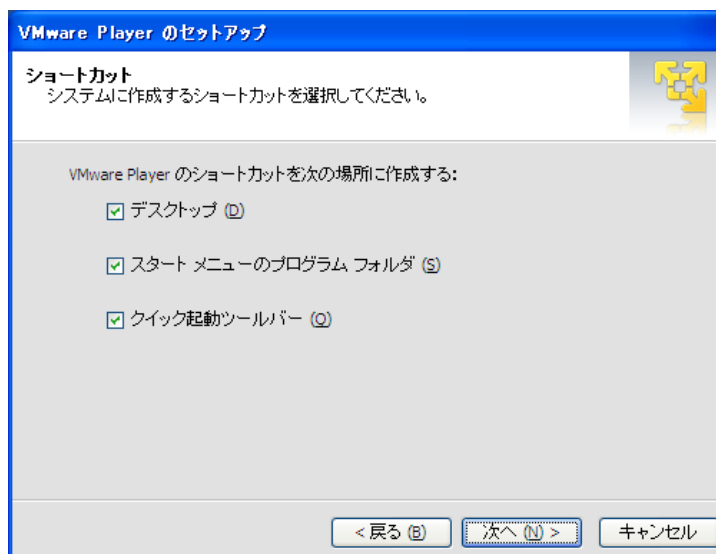


図 2.3 ショートカット作成場所の指定画面

4. 「続行」 ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

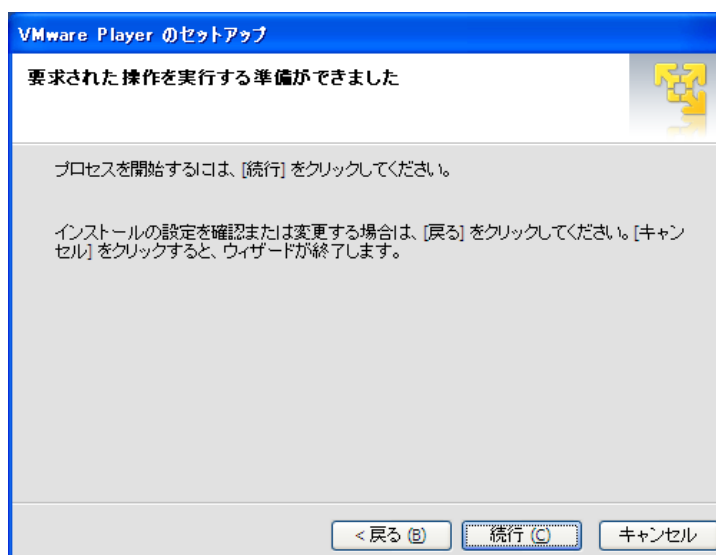


図 2.4 設定確認画面

5. インストールが終了すると、「図 2.5. セットアップウィザードの完了画面」が表示されます。「今すぐ再起動」ボタンをクリックして再起動してください。

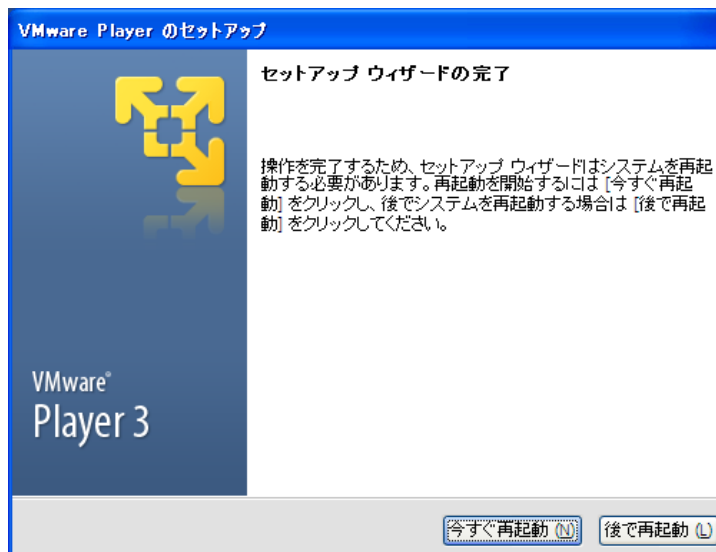


図 2.5 セットアップウィザードの完了画面

2.3. ATDE の起動

1. インストールした `vmplayer.exe` を実行します。
2. ライセンス確認画面が表示されます。内容を確認し同意する場合には、「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックし、「OK」ボタンをクリックしてください。

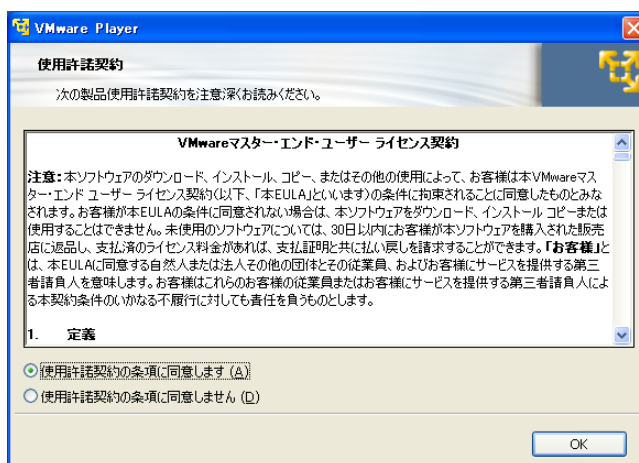


図 2.6 ライセンス確認画面

3. VMPlayer が起動します。「仮想マシンを開く」をダブルクリックしてください。



図 2.7 VMPlayer 起動画面

4. ファイルダイアログが開きます。「2.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde3-[version]フォルダにある atde3.vmx を指定してください。

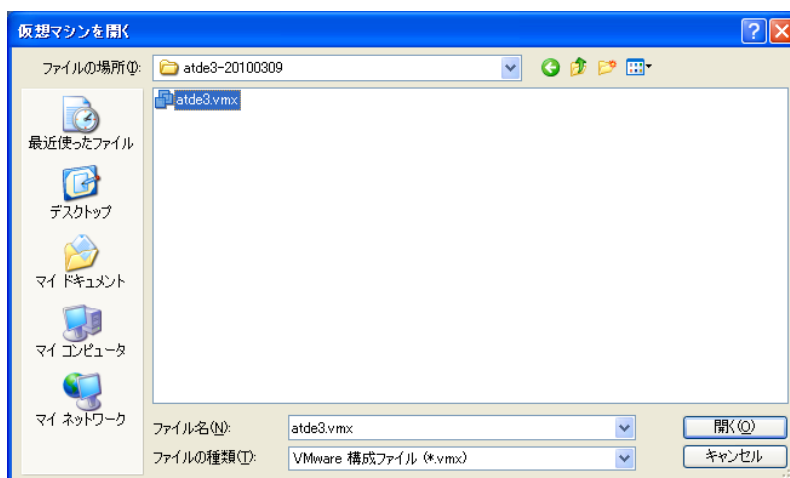


図 2.8 vmx ファイル指定画面

5. 仮想マシンのライブラリに atde3 が登録されました。「仮想マシンの再生」をダブルクリックすると atde3 の起動を開始します。



図 2.9 仮想マシンの選択画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています^[1]。ログイン画面を表示させたい場合は、「A.3. ATDE3 に自動ログインするには」を参照してください。

表 2.1 デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
atmark	atmark	一般ユーザ
root	root	特権ユーザ

2.4. アンインストール

2.4.1. VMPlayer のアンインストール

「スタートメニュー」の「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」から VMware Player を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックして削除してください。

^[1]特権ユーザでグラフィカルログインを行なうことはできません。

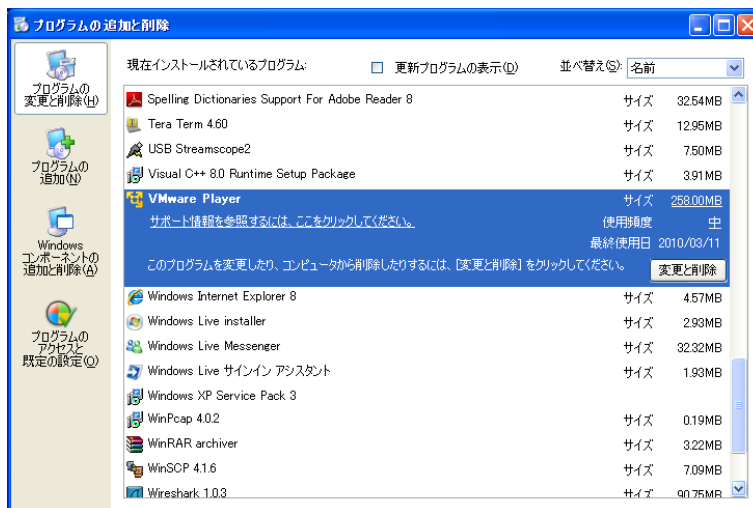


図 2.10 VMPlayer 削除画面

2.4.2. atde フォルダの削除

もしデータが必要ないのであれば、「2.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde3-[version] フォルダを削除してください。

3. Linux 上に ATDE を構築する

この章では Windows に VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

3.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

3.1.1. 準備するもの

ATDE を使うために以下のものがが必要です。

ATDE イメージ ATDE イメージ (`atde3-[version].zip`) は、付属 DVD の `/atde/vmware` フォルダにあります。弊社ダウンロードサイト [<http://download.atmark-techno.com/atde/>]からも取得できます。

VMPlayer のインス VMPlayer のインストーラ (`VMware-Player-[version].bundle`) は、
トーラ VMPlayer ダウンロードサイト [<http://www.vmware.com/download/player/>]から取得できます。

以降の ATDE 構築例では、以下のバージョンのファイルを使用しています。

- ・ ATDE イメージ: `atde3-20100309.zip`
- ・ VMPlayer: `VMware-Player-3.0.1-227600.i386.bundle`

3.1.2. ATDE イメージの展開

用意した `atde3-[version].zip` を任意のフォルダに展開します。コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ unzip atde3-[version].zip
[PC ~]$ ls
atde3-[version]      atde3-[version].zip
```

図 3.1 Linux での zip ファイルの展開

3.2. VMPlayer のインストール

VMPlayer のインストール手順を説明します。

1. ダウンロードした `VMware-Player-[version].bundle` を実行します。コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]# chmod +x VMware-Player-[version].bundle
[PC ~]# ./VMware-Player-[version].bundle
```

図 3.2 インストールの開始

2. 「Install」 ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

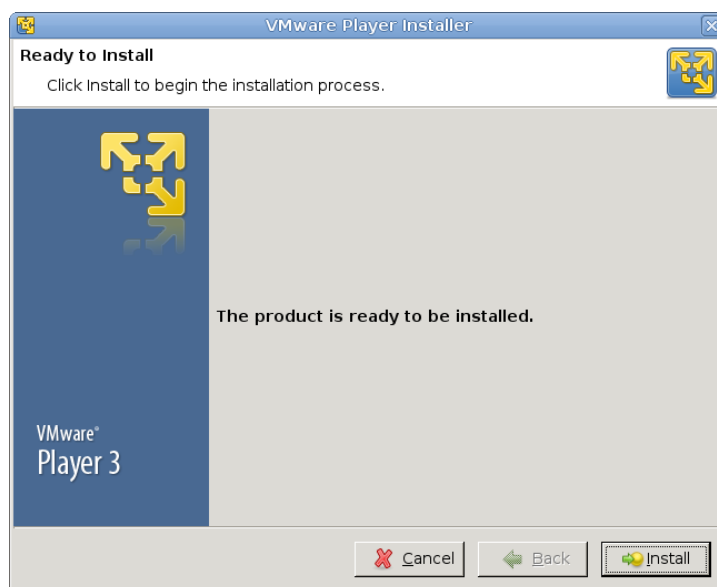


図 3.3 インストールの準備画面

3. インストールが終了すると、「図 3.4. セットアップウィザードの完了画面」が表示されます。「Close」 ボタンをクリックしてインストーラを終了させてください。

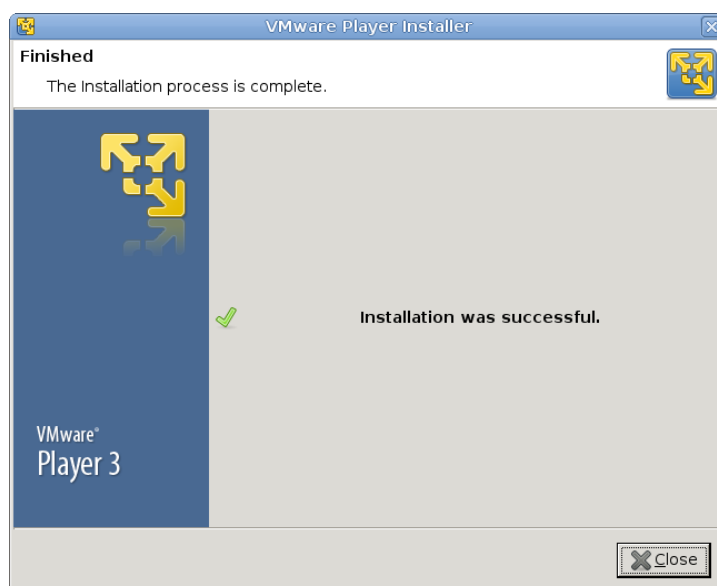


図 3.4 セットアップウィザードの完了画面

3.3. ATDE の起動

1. コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ vmplayer
```

図 3.5 VMPlayer の起動

2. ライセンス確認画面が表示されます。内容を確認し同意する場合には、「Accept」 ボタンをクリックしてください。

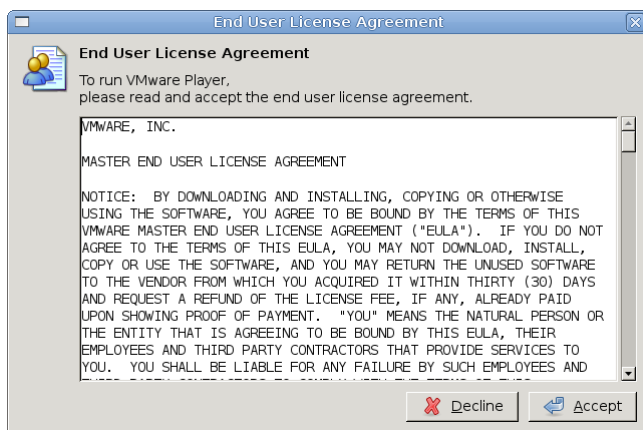


図 3.6 ライセンス確認画面

3. VMPlayer が起動します。「Open a Virtual Machine」をダブルクリックしてください。

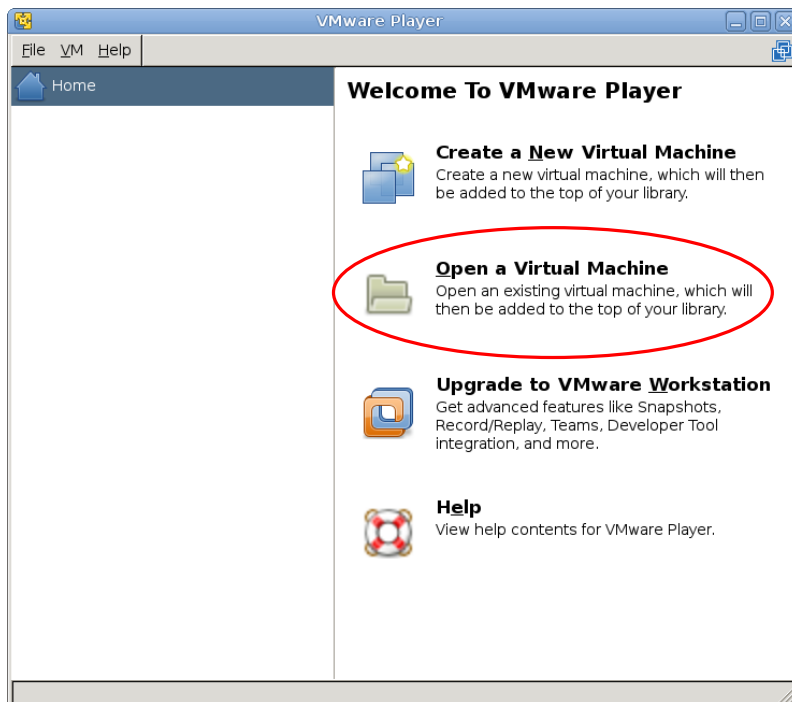


図 3.7 VMPlayer 起動画面

4. ファイルダイアログが開きます。「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde3-[version]フォルダにある atde3.vmx を指定してください。

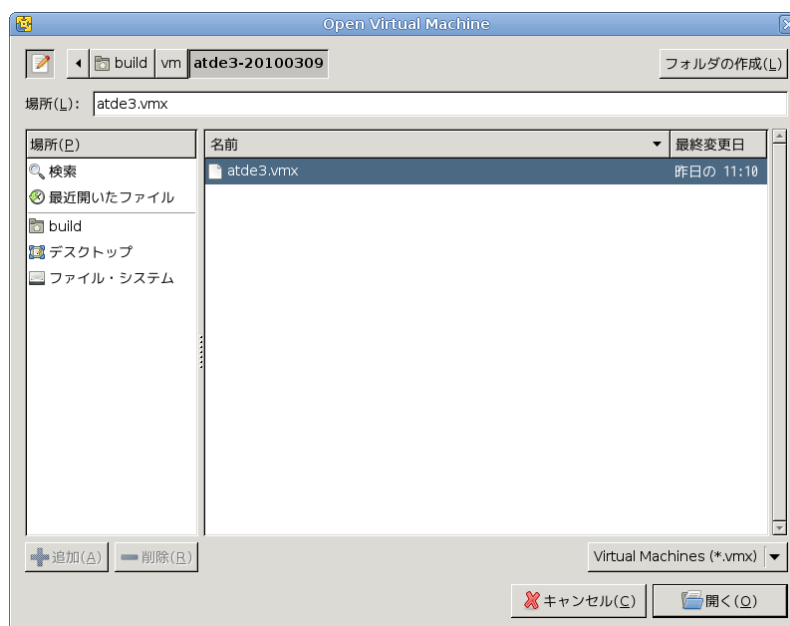


図 3.8 vmx ファイル指定画面

5. 仮想マシンのライブラリに atde3 が登録されました。「Play virtual machine」をダブルクリックすると atde3 の起動を開始します。

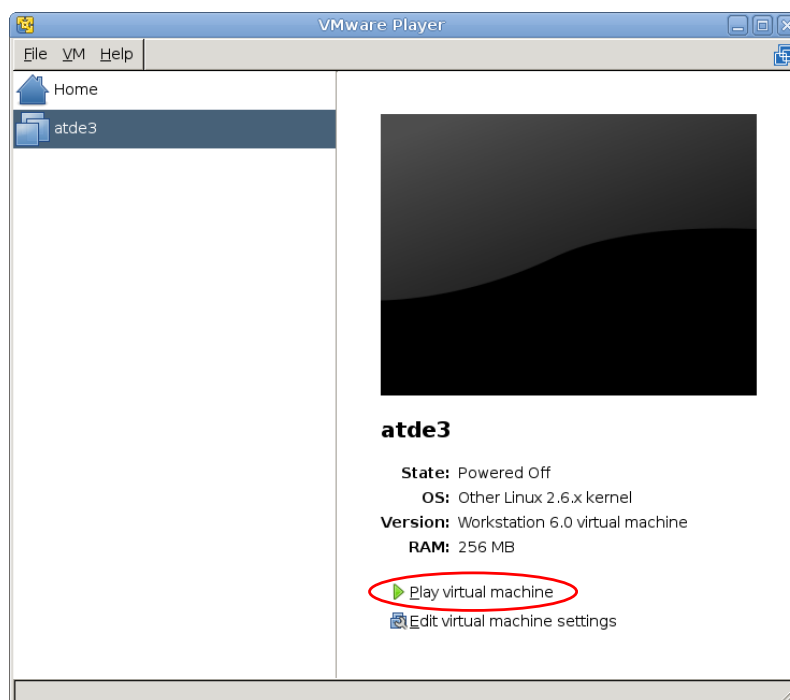


図 3.9 仮想マシンの選択画面

ログインユーザは、次の 2 種類が用意されています^[1]。ログイン画面を表示させたい場合は、「A.3. ATDE3 に自動ログインするには」を参照してください。

表 3.1 デフォルトのユーザ名とパスワード

ユーザ名	パスワード	権限
atmark	atmark	一般ユーザ
root	root	特権ユーザ

3.4. アンインストール

3.4.1. VMPlayer のアンインストール

以下のコマンドを入力するとアンインストールウィザードが表示されます。

```
[PC ~]# vmware-uninstall.pl
```

図 3.10 vmware-uninstall.pl によるアンインストール

3.4.2. atde ディレクトリの削除

もしデータが必要ないのであれば、「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde3-[version] フォルダを削除してください。

^[1]特権ユーザでグラフィカルログインを行なうことはできません。

付録 A Appendix

A.1. シリアルポートに関して

ATDE から PC のシリアルポートを使用することができます。

A.1.1. 動作確認方法

ATDE が動作している状態で PC のシリアルポートに Armadillo などの機器を接続し、電源を入れて動作を確認してください。

A.1.2. 動作しない場合の対処方法

- VMPlayer の「VM メニューバー」の「取り外し可能デバイス」にある「シリアルポート」(USB-シリアル変換アダプター使用時は該当するデバイス)にチェックが入った状態になっているかを確認してください。VMPlayer 下方のアイコンからも同様の操作を行なうことができます。

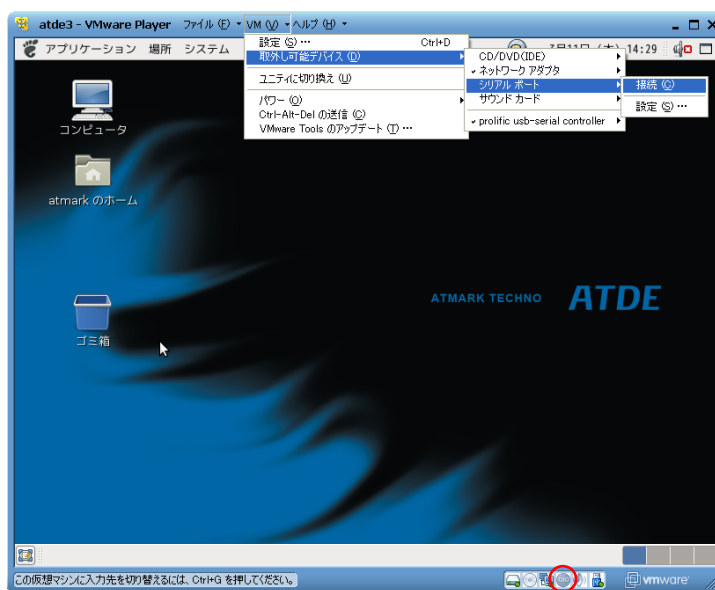


図 A.1 シリアルインターフェースへのアクセスエラー

- Windows 使用時に「図 A.2. シリアルインターフェースへのアクセスエラー」のような画面が表示された場合はすでにシリアルインターフェースが使用されています。ホスト OS でエラーメッセージに書かれているシリアルインターフェースを開放してください。

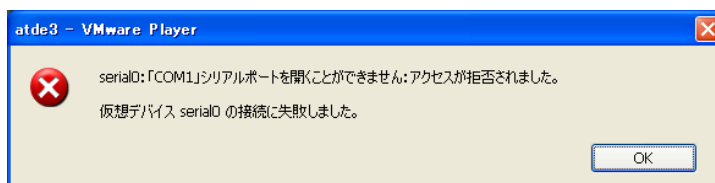


図 A.2 シリアルインターフェースへのアクセスエラー

A.2. ATDE の画面解像度を変更する

ATDE の画面解像度を変更する手順を説明します。

A.2.1. 画面解像度を変更する

以下では設定例として、画面解像度を"1280x1024"に設定しています。

- ・ ATDE3 の「システム」メニューの「設定」にある「画面の解像度」をクリックしてください。



図 A.3 画面解像度の変更

- ・ 画面の解像度を変更して「適用」ボタンをクリックしてください。

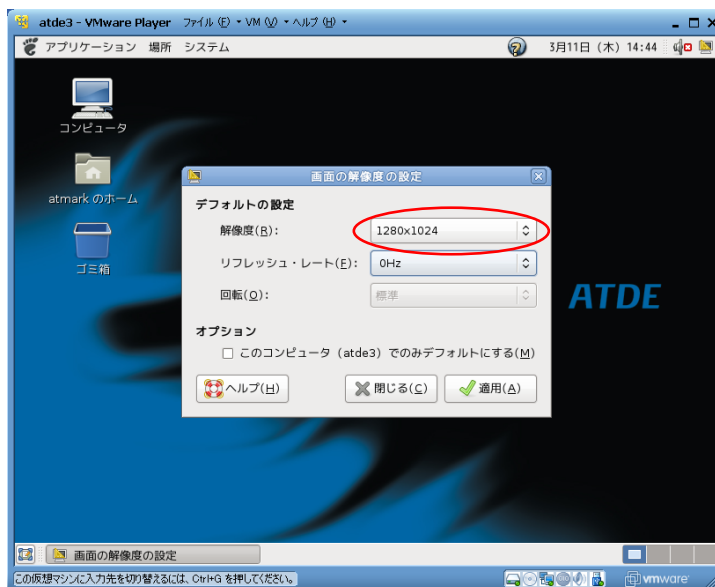


図 A.4 画面解像度の設定

A.3. ATDE3 に自動ログインするには

ATDE3 の起動時に、自動ログインする手順を説明します。

1. ATDE3 の「システム」メニューの「システム管理」にある「ログイン画面」をクリックしてください。

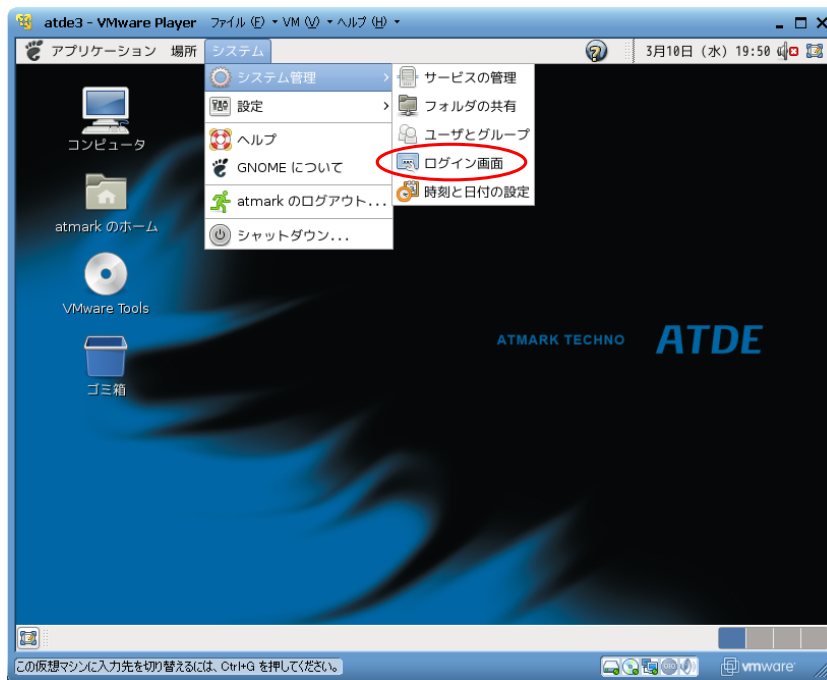


図 A.5 ログイン画面の変更

2. root のパスワードを聞かれるので、「root」と入力し、「OK」 ボタンをクリックしてください。



図 A.6 root パスワード入力画面

3. 「自動ログインを有効にする」にチェックを入れてユーザ名を指定します。

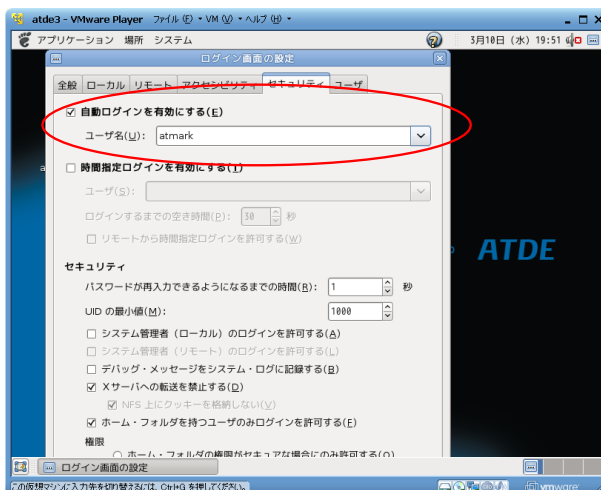


図 A.7 ログイン画面の設定

4. ATDE3 を再起動します。再起動後には自動ログインします。

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.0.0	2006/12/28	・ 初版発行
1.0.1	2007/7/20	・ ドキュメントプロパティのタイトルと作成者を修正 ・ ホスト・ゲスト間でのコピーと貼り付けについて追記
2.0.0	2007/10/4	・ atde2 (Debian GNU/Linux 4.0)ベースに更新
2.0.1	2009/01/14	・ タイトルを英語表記からカタカナ表記に ・ 「1. はじめに」 誤記修正 ・ 「2. Windows 上に ATDE を構築する」 使用するイメージのバージョンを更新
2.0.2	2009/03/18	・ 誤記、表記ゆれ修正
2.0.3	2009/07/17	・ 誤記、表記ゆれ修正 ・ 本文のレイアウト統一
2.0.4	2009/09/10	・ 表のレイアウト統一
3.0.0	2010/03/12	・ atde3 (Debian GNU/Linux 5.0)ベースに更新

ATDE インストールガイド
Version 3.0.0
2010/03/12

株式会社アットマークテクノ
060-0035 札幌市中央区北 5 条東 2 丁目 AFT ビル 6F TEL 011-207-6550 FAX 011-207-6570
